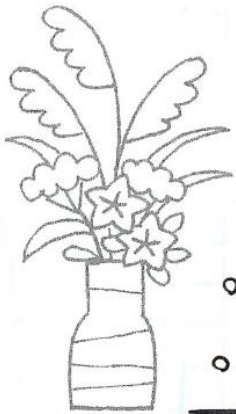


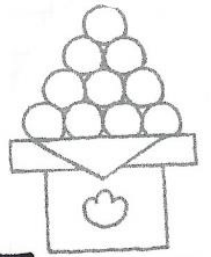
お茶会だより 9月号

矢島保育園 H29. 9. 26



一床の間

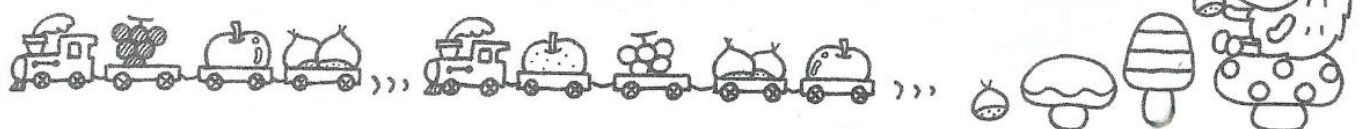
- 掛け軸 ~ 涼風
- お花 ~ ススキ、シュウカイドウ、カリガネソウ
- 香合 ~ 秋の虫 お菓子 ~ じょうよまんじゅう (うさぎ焼印)



秋のさわやかな風に ススキが気持ちよさそうに揺れている
ような 掛け軸。そして 子どもたちが楽しみにしている お茶菓子
には うさぎの 焼印。おまんじゅうのお月様に住んでいる
うさぎさんと前に どこから食べようかと 小喧んだりする子もいました。
お菓子からも 季節を感じて 味もうことができました。

お茶会のお稽古も 6回目 と なり 箸の使い方も 敷居と
踏まない事など 糸田かいところにも 気をつけて 真剣な
表情で 取り組んでいます。集中力が 続かないことも
ありますが、今まで習ってきた分、立ち振る舞いや挨拶も
身についてきています。今回は 先生方からの声かけがなくても
「自分たちで どう動くか」ということを 意識しながらいきました。

お稽古では 作法だけでなく 自分で考えて 行動したり、場面
に合わせて 静かに 待つことなども 学んでいるのだと 改めて 感じ
ました。成長しているところも 沢山褒めながら 子どもたちが
さらに 自信を持って 取り組めるようにしていきたいと思いを。



【今月の床の間】



《茶花》

ススキ
カリガネソウ
シュウカイドウ

《香合》～秋の虫



今月の床の間は、秋の月夜。
ススキ野原から、聞こえる
秋の虫の声を月のうさぎが
聞き入っているようです。



《お菓子》～お月見うさぎ (薯蕷饅頭)

【お稽古の様子】



今回は、植田先生より「4月からお稽古してきたので、自分で考えて動いてみましょう」とのお話もあり、友だちを見ながら、お茶会の流れを考えてお稽古した子ども達です。



間延びしない挨拶の話し方、友だちと動きを合わせる事、話かけて合わせるのではなく、友だちを見て学ぶ事など、多くの大事な事を改めて確認できました。